

株式会社松原特殊農機 サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2026年2月27日

株式会社北洋銀行
帯広中央支店

1. 基本情報

企業名	株式会社松原特殊農機	
代表者名	松原 啓隆	
所在地	北海道河東郡音更町木野大通東 13 丁目 3-5	
資本金	1,000 万円	
従業員	16 名 (2025 年 2 月現在)	
業種	製造業	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 選別及び搬送機械の製造・販売・メンテナンス 農業及び食品関連施設のプラント施工・据付工事 プラットフォーム運営・マーケティング支援 	
沿革	1952 年 1957 年 1966 年 1972 年 1982 年 1991 年 2000 年 2019 年 2024 年 2025 年	松原義輝氏が雑穀調製機器及び建築業として創業 有限会社 松原特殊農機具製作所 設立 海外製選別機の導入 株式会社松原特殊農機 商号変更 新社屋工場を所在地音更町に新設 松原久宗氏が代表取締役に就任 現存モデルの広域大規模プラント工事着手 プラットフォーム市場への参入 新型選別機ブランド「ONEXT」(ワンエクスト)を開発 松原啓隆氏が代表取締役に就任



出所: 松原特殊農機 提供資料

2. 理念体系

企業理念

ものづくりで、食の感動を。

経営方針

01. 食に関する機械技術の発展に貢献します。
02. 人と食をつなぐ新たな環境を提供します。
03. 農業と工業を支える未来の姿に挑戦します。

行動指針

01. 常に独創的な視点で生産すること。
02. 三方良しな関係を維持すること。
03. 社会のルールを遵守すること。

「1%でも良い、皆さまの期待や想像を越える。」

松原特殊農機は、創業以来、地場のお客様と真摯に向き合い、その声を受け止め課題解決に挑み続けてきた。時代の変化とともに、地域を取り巻く環境や求められる価値は変化し続けている。

創業 74 年目を迎えた現在、受け継いできた伝統を礎に、「変化・創造」を止めない姿勢が、これまで以上に求められている。そのため、「1%」でもお客様の想像を越え、「あっと驚く」ようなものづくりやサービス提供を心掛けている。その 1%の積み重ねを通して、選別業界をリードする企業になることを目指している。



出所：松原特殊農機 提供資料

3. 事業概要

松原特殊農機は北海道音更町に拠点を構える農機具製造業者である。当社の事業は、農作物の選別工程を担うことを中心に展開されている。収穫された農産物は当社が提供する選別機械や生産ラインにより、異物除去や品質選別、サイズ・形状ごとの分類が行われ、その後、流通業者や食品メーカー等に出荷される。こうした一連の流れの中で、松原特殊農機は農家から消費者までの食の安全と品質を支える重要な役割を担っている。

■ 選別機械事業・プラントエンジニアリング事業

松原特殊農機は、創業 70 年超にわたり選別機械及びプラントエンジニアリング事業を中核としてきた。選別機械事業では、大豆や穀物等を対象に、多彩な選別機器を展開し、特注対応等により顧客の細かなニーズに答えている。また、自社製品のみならず協力メーカーを含め、多様な機器のメンテナンス・改善にまで携わり、長期安定稼働と生産性向上を実現している。さらに、十勝という日本有数の農産地で磨き上げてきた知見と技術力は高く評価され、今では全国各地から相談が寄せられている。

■ 主な選別機械(一例)



出所：松原特殊農機 提供資料

プラントエンジニアリング事業では、施設全体の設計から施工・メンテナンスまでを一貫して担い、エンジニアによる細やかなフォローで設備の最適化と生産性向上に貢献している。現在、松原特殊農機に求められるニーズは、①既存設備の修理・改善提案、②将来を見据えた設備新設の双方である。現在、選別業界において設備のメンテナンスや改善提案ができる技術者が減少しているが、当社は工場の修理からメンテナンスまで一貫して対応可能な体制を有している。これにより、長期安定稼働を支えるとともに、設備更新が困難な現場にも価値を提供している。また、新設設備においても、予算や設置スペース、処理速度など顧客の細かな要望に対して柔軟に対応し、最適な生産ラインの構築を実現している。この 2 つのニーズに応えるため、現場目線の徹底したヒアリングが当社の信頼と存在感を高めている。

■ プラントエンジニアリング事業の様子



出所：松原特殊農機 提供資料

4. 近年の施策と経営変革

■ 事業・技術の承継

2025 年より三代目として現任の松原啓隆氏が代表取締役役に就任した。それ以前は、当社も後継者不在という道内企業共通の課題を抱えていたが、事業承継により長年培ってきた技術とノウハウの継承が実現し、持続的な企業経営への道筋がより確かなものとなった。

また近年では、IT・マーケティング分野とのマッチングを強化し、従来の製造業的な手法に加え、デジタル化や異業種連携、新規事業開発等、柔軟な発想と行動力を兼ね備えている。

組織面では、WEB 媒体を活用し、自社の魅力や働き方を発信することで多くの応募者を集め、20 代・30 代を積極的に採用しており、現在では全体の 4 割を占める。今後は採用重視から育成重視のフェーズへ移行し、やりがいを感じられる職場づくり・技術承継に努めていく。

■ 補助金の活用

近年では各種補助金を活用し、先進設備の拡充を図っている。例えば、2024 年には、ものづくり補助金を活用し、「サーボベンディングマシン(プレス加工機)」を導入した。これにより、オイル使用量やエネルギー使用量の削減といった環境負荷低減が期待できるほか、自動化による段取り軽減による生産性向上が期待される。国内でも導入例が少ない先端機械の導入であり、当社の技術革新への積極性がうかがえる。

環境配慮と生産性向上を両立する設備投資は、持続可能な企業経営を志向する当社の姿勢を強く印象付けるものである。今後も、先進設備の積極的な導入と技術力の強化を通じて、選別機業界における技術革新を牽引することを目指している。

■ 補助金を活用し導入した工作機械



サーボベンディングマシン (プレス加工機)
2024 年ものづくり補助金を活用し導入



レーザー加工機
2023 年ものづくり補助金を活用し導入

出所：松原特殊農機 提供資料

このように松原特殊農機では、事業・技術承継にむけた体制構築、若手人材の確保、先進的な設備拡充等、持続的な成長に向けた取り組みを積極的に行っている。今後は、人材育成の深化、異業種展開の実現、組織全体の一体感醸成にも視野を広げている。引き続き、地域に根差した事業展開とともに、柔軟な人材戦略・組織運営を推進することで、持続的成長を図っていく考えにある。

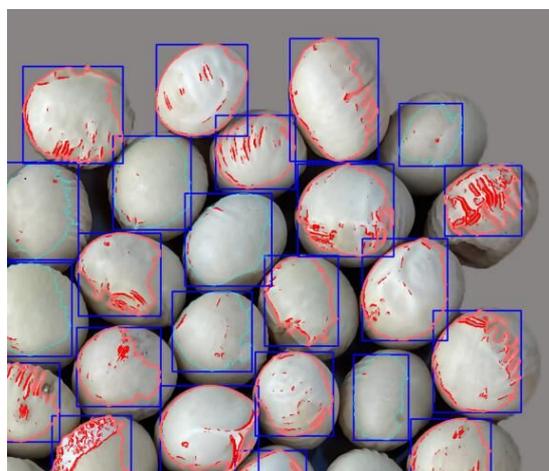
5. 持続的成長に向けた成長戦略

松原特殊農機は、伝統的な選別機事業を基盤としつつ、近年はデジタル技術の導入や新規事業開発に積極的に取り組んでいる。特に、生成 AI や画像分析技術の活用による選別機の高度化を目指しており、業界内での競争優位性の強化が見込まれる。

具体的な取り組みとして、センサーやタッチパネル、AI・画像解析など最先端技術を活用した高精度かつ高効率な選別ソリューションの開発を進めている。これにより、従来の穀物分野のみならず、水産・食品・菓子業界等、新たな市場への展開も視野に入れており、既に一部でテスト導入や共同開発が進行している。

今後は北海道内にとどまらず、全国さらには異業種への販路拡大を図り、「穀物の松原」から「食の松原」へのブランド力強化も図っていく。

■ 画像分析を用いた形状選別



出所：松原特殊農機 提供資料

また松原特殊農機では SDGs への対応も今後の重要課題と位置付け、温室効果ガス排出量の可視化をはじめとするサステナブル経営の推進、及び従業員の福利厚生充実といった健康経営にも積極的に取り組む方針である。

総じて、松原特殊農機は「伝統×イノベーション」を経営の軸とし、既存事業の深化と新分野への探索を並行して推進することで、地域農業・食品産業の発展に寄与するとともに、持続的成長が見込まれる。今後も外部環境や市場ニーズの変化に柔軟に対応し、北海道発のものづくり企業として更なる飛躍が期待される。

6. サステナビリティ目標

松原特殊農機の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、松原特殊農機の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、松原特殊農機のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重要課題	脱炭素社会実現への貢献
目標・KPI	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連するSDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重要課題	① 人的資本経営の推進 ② ワークライフバランスの充実
目標・KPI	① 消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。 ② 育児休暇取得率を、男性で64%以上、女性90%以上にする。
関連するSDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。